

施策 No.	政策名	生きがいを育む学びのまちづくり	主管課	生涯学習課	主管課長名	柳田 勝
2-2	施策名	生涯学習・芸術文化活動の推進	関係課	学校教育課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
	生涯にわたって自ら学び、学びあっている。	市民	①桜川市人口	人	見込値	41,278	41,008	40,738	40,467
実績値					41,278	40,483			
見込値									
実績値									
施策の意図		成果指標名	単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
		①日頃学習活動をしている市民の割合	%	目標値	25.1	25.1	25.1	25.1	25.1
				実績値	24.2	22.2			
		②公民館の年間利用者数	人	目標値	89,000	90,000	91,000	92,000	93,000
				実績値	78,052	75,205			
		③図書館・室の年間利用者数	人	目標値	28,100	28,600	29,100	29,600	30,100
				実績値	29,127	33,170			
				目標値					
	実績値								
成果指標設定の考え方	生涯にわたって自ら学んでもらう、学びあう成果指標は、①「日頃学習活動をしている市民の割合」をアンケートで調査。また、各社会教育施設の利用者数の把握。								
成果指標の把握方法と算定式等	○対象の人口は、毎年10月1日の常住人口。 ○①日頃学習活動をしている市民の割合は、市民アンケートより求める。②公民館の年間利用者数は、各公民館の利用実績の合計より求める。③図書館・室の年間利用者数は、真壁図書館・岩瀬中央公民館図書室・大和中央公民館図書室の利用者の集計より求める。								

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)		
実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
背景・要因	日頃学習活動をしている市民の割合について、平成28年度は25.1%、平成29年度は24.2%と0.9ポイント減少しているなか、平成30年度は22.2%と減少している。 学習活動において公民館講座等の充実を図っているが、受講者の高齢化が著しい状況であり減少傾向にある。 公民館の年間利用者数については、高齢者の利用が多い状況であるため、平成29年度は78,052人、平成30年度は75,205人と2,847人の減少状態にある。 図書館・室の年間利用者数については、平成29年度は29,127人、平成30年度は33,170人と4,043人の増、若い世代の方は、一人で静かに活動したい方が増加しているためか、図書館利用者が多くなっている。	
2) 成果目標の達成状況		
実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを上回った	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った
背景・要因	日頃学習活動をしている市民の割合について、目標値に対し、下回っている。 学習活動において、公民館講座等の充実を図っているが、受講者の高齢化が著しい状況であり減少傾向にある。 公民館の年間利用者数については、目標値に対し、14,795人下回っている。今後、受講生の固定化・高齢化が著しい状態にあるため、若い世代の方にも興味関心のある講座を推進し、夜の講座を増やすなどして、受講生を増やしていきたい。 図書館・室の年間利用者数は、目標値に対し、平成29年度は1,027人、平成30年度は4,570人上回っている。	

3. 施策の成果実績に対するの総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対するの総括	今後の課題・方針
<p>○生涯学習・芸術文化活動の推進事業において、貢献度の高かった事業は下記のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜川市文化協会助成事業 文化協会事業企画委員会主催において、平成30年度は「ピアノコンサート」を実施し、大盛況だった。 ・桜川市市民文化祭 実行委員会を中心とし、市民すべての方が参加資格を有し、日頃の生涯学習活動(公民館講座、自主講座)・文化振興活動(文化協会、伝統民俗芸能)の成果を発表する場の提供を行った。 ・ブックスタート事業 平成30年度は幼児4カ月～6カ月185名に対し、読み聞かせの団体の中から50名の参加をいただき、絵本を読んであげ、お母さんの育児の悩みなどを聞いてあげたり、遊んであげたりと、また絵本のプレゼントをする事業で、欠席者は22名であった。 ・公民館読み聞かせ事業 それぞれの公民館で月1回絵本を読んだり、紙芝居をやったりと幼児から小学生までが参加があり、自主活動をしてきてます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜川市市民文化祭への参加者については、広く公募しているが、出品者、参加者の高齢化、固定化が進んでいる。今後、若年層の参加意欲が向上するような内容を取り入れ、改善が必要である。 ・桜川市文化協会助成事業については、文化協会事業企画委員会主催において、今年は「落語」を実施予定 ・ブックスタート事業、公民館読み聞かせ事業については、少子化に伴い大事な事業であるため、継続していきたい。